

令和4年度 瑞穂市地域防災計画の修正の概要

1.地域防災計画修正の根拠

瑞穂市地域防災計画は、災害対策基本法第16条に基づく瑞穂市地域防災会議が定めるものであり、災害予防をはじめ災害応急対策及び災害復旧等に関する事項別の計画について定めた総合的な計画です。

計画内容は、岐阜県地域防災計画の更新等を踏まえ、適宜、検討を加え、災害対策基本法第42条に準じ必要に応じて修正するものです。

2.見直しのポイント

- (1) 令和3年に発生した災害の検証を踏まえた修正
- (2) 近年の施策進展等を踏まえた修正
- (3) その他（瑞穂市独自の修正等）

3.主な修正事項

- (1) 令和3年に発生した災害の検証を踏まえた修正

(ア) 令和3年8月の大雨

①住民の避難意識を高める取組みの実施

- ☞住民自らが地域の災害リスクを把握し、適切な避難行動を考えるために作成するデジタル版「災害・避難カード」の普及を推進（一般：P41）
- ☞SNS等を活用した避難情報等のプッシュ配信やデジタル技術等を活用した切迫感のある広報・啓発の実施（一般：P46、地震：P36）
- ☞避難所の開設状況や混雑状況等をホームページ等の多様な手段で周知（一般：P42、地震：P33・34）
- ☞正常性バイアス等の必要な知識を教える防災教育の推進（一般：P20、地震：P16）

②早期復旧に向けた取組みの推進

- ☞復旧工法の早期立案を支援するため、県土木技術職員OBで組織するボランティア団体「災害復旧隊（DRS）」の被災地へ派遣について追記（一般：P229）

(イ) 静岡県熱海市の土石流災害

①道路啓開訓練の実施

- ☞国や県、市町村、県警察、消防、電線管理者等関係機関と連携した道路啓開訓練を実施（一般：P75）

(2) 近年の施策進展等を踏まえた修正

①持続可能な開発目標（SDGs）の取組みの推進

- ☞SDGsの観点を踏まえた取組み、特に、目標11「住み続けられるまちづくりを」及び13「気候変動に具体的な対策を」を目指した取組みを推進（一般：P2）

②気候変動を踏まえた防災対策の推進

- ☞自然環境の機能を活用すること等により地域レジリエンスを高め「Eco-DRR（生態系を活用した防災・減災）」や「グリーンインフラ」、流域全体で被害を軽減する「流域治水」の取組みを推進（一般：P19、地震：P14・15）

③デジタル技術を活用した防災対策の推進

- ☞効果的・効率的な防災対策を行うため、AI、IoT、クラウドコンピューティング技術、SNSの活用など災害対応業務のデジタル化を推進（一般：P17、地震：P14）

④原子力災害時の広域避難対策の推進

- ☞県のコロナ禍における広域避難先市町村の避難所の収容人数減少を踏まえた見直しを受けた修正（原子力：P26）

(3) その他（瑞穂市独自の修正等）

①施設、人員の情報の更新

- ☞対象施設の情報の更新、人員数などの情報の更新（資料編）

②その他

- ☞誤字脱字の訂正